

CこOこCこOこRろO

VOL.
15

ココロと
カラダの
元気生活

2018年4月 発刊第15号



新連載

未来を見つめて
治療と仕事の両立を考える

巻頭特集

小田原医師会

「ここからサポートセンター」が

円滑なストレスチェックを可能にする

巻頭特集

4

小田原医師会「ここからサポートセンター」が 円滑なストレスチェックを可能にする

医療法人恵中会理事長・小田原医師会ストレスチェック担当理事 小島時昭

14

ウェルリンクのお客様に聞く 3 残業時間ゼロを実現した「関東工場版働き方改革」

株式会社ギャバン ロジスティクス本部長兼関東工場長 松本恒さん
人事総務部 マネージャー 新家潤太さん

20

認知症に向き合う生き方 第15回 デイサービスを見に行こう! 2 施設はさまざま、ニーズにこだわろう

斯波道子・小川陽子

24

Well Linkの職場から わたしの仕事・わたしの思い 7 正確かつ着実な仕事で信頼に応えたい

健康調査部 健康調査グループ グループ長 産業カウンセラー 竹山奈緒子

27

おばあちゃんとわたし 第15回 青虫

松島むう

新連載

34

未来を見つめて 治療と仕事の両立を考える 1 病気と共に生き、働く時代

石川邦子

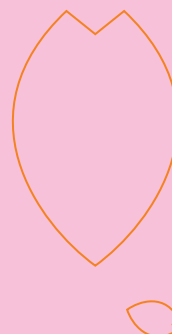
46

ココロを楽にする哲学 読んで考えるサプリ 7 不安とは何か? —心安らかに過ごすために—

小川仁志

COCORO

ココロとカラダの元気生活
2018.04 vol.15



執筆者紹介

—

おばあちゃんとわたし

—

松島むう(まつとり むう)
1977年滋賀県生まれ。
イラストエッセイスト。元精神科看護師。
旅、看護、保育系の雑誌、書籍で活躍中。
『おばあちゃんとわたし』(方丈社)、
『日本てくてく ゲストハウスめぐり』
(ダイヤモンド・ビッグ社)、
『あちこち 島ごはん』(芳文社)
<http://muu-m.com/>

認知症に向き合う生き方

—

斯波道子(しば みちこ)
建築士、エッセイスト。
夫の母親を11年自宅で介護した経験から
『おばあちゃんがボケちゃった』(ハート出版)
を執筆。地域新聞、江古田新聴に
「責めない・叱らない・諭さない」を連載。
小川陽子と、介護家族のしゃべり場
「ちいさなカフェ・明日葉」を共催。

小川陽子(おがわ ようこ)

ノンフィクション作家。父親を介護、
看取った経験から
『親の認知症が心配になったら読む本』
(実務教育出版)を執筆。
その他「お母さん笑顔をありがとう」
(備成社)など、著書多数。
高齢者住宅新聞「エルダリープレス」に
「ひととは誰でもドラマティック」を連載。



表紙作品(原寸大)

—

title:
No.45 「鳥の保育所」

comment:
働いている親鳥の代わりに
ご飯の用意からお昼寝の準備まで
なんでもお世話します。
0歳から受け入れ可能です。

profile:
渡邊のり子(わたなべ のりこ)
筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形領域卒業。
在学時より、およそ5cm四方の箱の中に、
雑誌の切り抜き・金物・布きれ等、
小物を配置・再構成することによって、
箱の中にある「場」を表現している。
劇団「百景社」にて舞台美術の経験を経た後、
2018年4月よりアーティストとして独立。





医療法人患中会理事長、小田原医師会ストレスチェック担当理事。平成9年、北里大学医学部卒業、北里大学病院内科に入局。清水厚生病院循環器内科、北里大学病院内科、小田原市立病院循環器科医長、小田原市立病院循環器科内科部長などを経て、平成20年12月、小田原市西酒匂に小島クリニックを開業。日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会認定内科医。

医療法人患中会理事長
小田原医師会ストレスチェック担当理事

小島時昭

事業者、従業員、医師……
それぞれにメリットが
期待できる新事業

小田原医師会

「ムスコ」からサポートセンター」が

円滑なストレスチェックを可能にする

OC
ORO
INTERVIEW

「何をすればいい?」「どうすればいい?」

医師も会社も悩んだストレスチェック義務化

私は神奈川県小田原市でクリニックを開業し今年で十年目になります。今から三年前の平成二十

七年、地元小田原で会社を経営する知人から、「うちの産業医になってくれないか」と相談されました。ちょうどストレスチェックの義務化が法制化された年でした。

知り合いからのたつての要望だったので、何とか力になりたい。しかし開業直前に産業医の講習

を受け、資格は持っていたものの、もっぱら地域の医療機関としてクリニックでの診察と訪問診療に従事しており、これまで実際に産業医としての活動はしていませんでした。そこに、話を持ちかけられたのです。

産業医を受けるからにはきちんと要望に応えたので、改めて産業医の仕事内容を確認してみたところ、基本業務である職場巡視・安全衛生委員会への出席、事業者に対する勧告助言、環境測定結果についての意見、労働基準監督署への健康診断結の報告。健康相談、保健指導、長時間残業者に対する面接指導などの事後措置。衛生教育・健康教育などの教育啓発業務など、七年前に学んだものと大きな変わりはありませんでした。

ところが最近、産業医に求められている「具体的な仕事の内容」には何があるのか？ さらに詳しく調べてみると、ストレスチェックの実施者として調査票の選定や実施結果の評価、高ストレス者の判定や面接指導など、メンタルヘルスに関する

る仕事が必要になってきていることを知りました。私が産業医の認定を受けた平成二十年当時の産業医講習には、まだストレスチェックなどに関する講義はありませんでした。もちろん医師として働く人のメンタルヘルスや高ストレスに関心はありましたが、とても精通しているとはいえない状態でした。

しかし、平成二十七年十二月一日から、労働安全衛生法に基づいて、五十名以上の労働者が働く事業所でのストレスチェックの実施が義務化されたので、私は産業医として、ストレスチェックの共同実施者となり、その計画から実施、終了まで全般に関わらなければならなくなりました。正直な話、さてどうしたものかと悩みました。

小田原医師会の産業医たちに意見を聞いてみると、悩んでいるのは私だけではありませんでした。産業医の中にも私と同様に、ストレスチェックの義務化に際して、どのように関わっていけばいいのか、手探り状態の医師が少なくなかったのです。

そればかりか、ストレスチェック義務化の対象となる従業員五十人以上の会社の経営者や人事部門も、同じように悩んでいることを知りました。ストレスチェック実施方法の策定、方針の表明、実施者・医師の選任、労働基準監督署への報告書類の作成、チェック結果の保管方法など、決めなければならないこと、手配しなければならぬことが多岐にわたり、具体的にいつまでに何をどうすればいいのか、悩んでいたのです。

**小田原医師会の新規事業計画として
ストレスチェック事業への参入を提案**

私が産業医を受け、ストレスチェックが義務化された平成二十七年、私はたまたま小田原医師会の経理担当理事として、医師会を運営する側にいました。

ストレスチェックの義務化で、産業医としてどのように関わればよいか。導入初年度なので、勝



続きはこちらからダウンロード
<https://www.welllink.co.jp/cocoro/form/>

[月刊] ウェルリンク株式会社

こころ
COCORO

Vol. 15

ココロとカラダの元気生活

2018年3月31日発行

デザイン

杉山健太郎

制作

株式会社方丈社

東京都千代田区神田神保町1-32 星野ビル2F

TEL: 03-3518-2272 FAX: 03-3518-2273

URL: <http://hojoshu.co.jp>

発行

ウェルリンク株式会社

東京都文京区湯島1-5-28 ナーベルお茶の水2F

TEL: 03-5842-6081 FAX: 03-5842-6127

URL: <http://www.welllink.co.jp/>

* 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。